

観光地域づくり法人形成・確立計画

記入日：令和7年 8月 12日

1. 観光地域づくり法人の組織

申請区分 ※該当するものを ○で囲むこと	広域連携DMO・ <u>地域連携DMO</u> ・地域DMO	
観光地域づくり法人の名称	(一社) アントラーズホームタウンDMO	
マネジメント・マーケティング対象とする区域	茨城県鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市	
所在地	茨城県鹿嶋市神向寺 23 番地 2	
設立時期	平成 30 年 1 月 30 日	
事業年度	4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までの 1 年間	
職員数	2 人【常勤 2 人（正職員 0 人・出向等 2 人）、非常勤 0 人】	
代表者（トップ人材：法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者） ※必ず記入すること	(氏名) 代表理事 田口 伸一 (出身組織名) 鹿嶋市長	平成 26 年 4 月から令和 4 年 1 月まで、茨城県議会議員として県政進展に寄与し、令和 4 年 4 月に鹿嶋市長就任、同年 6 月から代表理事を務めている。現在は広い人脈を生かしながら、各般へ当法人の目的遂行に向けての働きかけを精力的に行っている。
データ分析に基づいたマーケティングに関する責任者（CMO：チーフ・マーケティング・オフィサー） ※必ず記入すること	(氏名) 事務局長 矢橋 伸一「専従」 (出身組織名) 株鹿島アントラーズ・エフ・シーから出向	旅行代理店での勤務を経て、2020 年より鹿島アントラーズ・エフ・シーに入社。クラブと地域をつなぐ役割として行政・地域企業・団体・事業者等との連携強化を図るとともに、スポンサー担当業務を行う。2022 年よりアントラーズホームタウンDMO へ出向、前職で培った団体旅行・手配旅行の経験を活かし、企画運営・マーケティング業務に取組む。
財務責任者（CFO：チーフ・フィナンシャル・オフィサー） ※必ず記入すること	(氏名) 事務局長 矢橋 伸一「専従」 (出身組織名) 株鹿島アントラーズ・エフ・シーから出向	同上
各部門（例：プロモーション）の責任者（専門人材）	(氏名) 事務局長 矢橋 伸一「専従」 (出身組織名)	同上

※各部門責任者のうち専従の者については、氏名の右横に「専従」と記入すること	(株)鹿島アントラーズ・エフ・シーから出向	
各部門（例：旅行商品の造成・販売）の責任者（専門人材）	（氏名） 事務局長 矢橋 伸一「専従」 （出身組織名） (株)鹿島アントラーズ・エフ・シーから出向	同上
連携する地方公共団体の担当部署名及び役割	鹿嶋市商工観光課（観光地域づくり全般） 潮来市産業観光課（観光地域づくり全般） 神栖市観光振興課（観光地域づくり全般） 行方市商工観光課（観光地域づくり全般） 鉾田市商工観光課（観光地域づくり全般） 各市スポーツ振興担当課等（スポーツ団体調整、スポーツ施設整備） 各市歴史・文化財・芸術文化担当課等（史跡等の整備保存、PR） 各市農水産物担当課等（JA との調整、農業研修調整、農水産振興、農水産物PR） 各市教育委員会（学校交流調整） 茨城県観光物産課（当 DMO への支援、情報提供）	
連携する事業者名及び役割	(株)鹿島アントラーズ・エフ・シー（合宿及び大会プランニング、サッカー指導者派遣） (株)なめがたしろはとファーム（農業体験等の体験型商品開発、合宿等食事メニュー開発、土産商品開発等） ザ・ロイヤルゴルフクラブ<東京レジャー開発(株)>（インバウンド等誘客、ゴルフパッケージツアー商品等開発） 関彰商事(株)（総務部支援） 域内金融機関（観光事業者等経営支援） エフエムかしま市民放送(株)（情報発信、誘客促進） (株)フューチャーリンクネットワーク（ふるさと納税委託事業者） (株)さとふる（ふるさと納税委託事業者） 鹿島神宮（誘客促進） 各市観光協会（プロモーション、特産品開発・PR、イベント開催） 各市商工会（プロモーション、特産品開発・PR、イベント開催） 各市スポーツ振興団体（スポーツ団体調整、誘客促進） 各市宿泊施設事業者（宿泊受入、誘客促進） 各市飲食関連事業者（飲食提供、食事メニュー開発） 漁業協同組合（水産物 PR・提供） JA（特産品 PR・提供） 茨城県観光物産協会（県 DMO 連携） 茨城県サッカー協会（誘客促進） 交通事業者（二次交通） 常磐システムエンジニアリング(株)（インバウンド農業ツーリズム提携事業者） (株)KX（商品企画・販売・プロモーション）	
官民・産業間・地域間との持続可能な	【該当する登録要件】 （概要）	

連携を図るための 合意形成の仕組み	・ DMO 事務局が招集者となり、DMO 参画の 9 法人担当者と関連事業者によって、不定期で戦略会議を開催している。この定例会は、理事会で承認された年度事業計画を遂行するための、事業規模や効果的実施方法等について協議をしている。また、KPI の設定・評価や PDCA の検証、KPI をはじめとする各種データに基づく戦略策定や次年度の事業計画立案等も行っている。これらを通して官民・産業間・地域間の連携と合意形成が図られている。 ・ この定例会において、各参画組織の DMO 担当者と関連事業者レベルでの上記内容等の意思決定を行い、当法人定款の規定により理事会に執行業務等を上程し、承認を受けて執行する流れとなっている。年度当初の第 1 回理事会には、年度事業計画・収支等を諮り、第 2 回理事会においては、事業進捗や新規の事業提案等を行い承認を受けることとしている。 ・ 理事会の構成は、定款に基づき理事と監事としており、5 市の首長と民間理事 4 人、監事 1 人となっており、当法人の最高意思決定機関となっているとともに、最終的な合意形成の場となっている。
地域住民に対する 観光地域づくりに 関する意識啓発・ 参画促進の取組	・ 当法人の HP、5 市の HP や広報誌及び関連事業者による各種イベント開催時に PR 活動を行うとともに、カシマサッカースタジアムでの鹿島アントラーズホームゲーム開催時や各種イベントなどにおいて、啓発活動及び参画促進のための活動を実施している。 ・ エフエムかしまと共同運用している地域情報サイトである「鹿行ナビ」にて地域情報の発信を定期的に行っている。 ・ エフエムかしま、なめがたテレビへの定期的な番組出演による情報発信を実施している。
法人のこれまでの 活動実績	【活動の概要】 ・ スポーツツーリズムを核とした観光地域づくり法人として、平成 29 年 11 月 28 日に日本版 DMO 候補法人に登録し、平成 30 年 1 月 30 日に一般社団法人アントラーズホームタウン DMO として登記完了した。 ・ 平成 30 年 4 月に事務局が本格稼働し、日本サッカー協会や茨城県サッカー協会、地域協会及び鹿島アントラーズ FC との連携による海外からのスポーツ合宿の誘致や大会開催のほか宿泊手配等、さらに自走化に向けての収益事業として新電力（名称：DMO でんき）販売の仲介事業も行っている。 また、中国をはじめとする東アジアを中心としたインバウンドスポーツ合宿、教育旅行、農業研修等を拡充するために、現地旅行法人からスポーツ合宿、教育旅行者等の送客を得ている。 さらに、域内の貴重な観光資源となっている北浦（霞ヶ浦）を周回する県内初の 100 km ウルトラマラソン大会を平成 31 年 3 月に開催。参画団体でもある鹿行 5 市を周遊する大会としてツアー等含め実施協力をしている。令和 7 年 3 月には第 7 回大会を開催予定。 ・ 平成 31 年 4 月に、第 7 回スポーツ振興賞において、「インバウンドスポーツ合宿ビジネス」事業の取り組みに対して、（公社）スポーツ健康産業団体連合会の会長賞を受賞した。 ・ 平成 30 年度、令和元年度の 2 カ年において約 4,850 泊の受入れを行っており、宿泊、飲食、交通事業者等を中心に経済効果を生んでいる。 ・ 令和 2 年には、鹿行地域の空き家率（平成 30 年値）が全国・茨城県の平均値より極めて高いことから、空き家の利活用による交流人口の増加等を目的に空き住宅を借り上げ、民泊施設「Stay Rokko」を 7 月 17 日に開業し、合わせてレンタサイクル事業を開始した。 ・ 地域の土産物商品として、地元酒米を使った日本酒「我は勝つ」の令和元年 8 月販売、地域限定商品としての「アントラーズホームタウンうまい棒」を同年 10 月より期間限定で販売した。

さらに参画団体でもある鹿行 5 市のゆるキャラをデザインに組み込んだ T シャツや地域土産のシンボルを目指すロゴを作成し、ロゴマーク入りの商品を開発、販売している。

また、銚田市商工会と連携し、「銚田のうまいもん BOX」を令和 3 年 2 月に販売、7 月には第 2 弾を販売した。

鹿島漁協と連携し、令和 3 年 6 月に「2020 おうちで応援セット」を販売、地域産品であるはまぐりをセットにした商品販売した。

- ・令和 4 年には、東アジアサッカー連盟(EAFF)が主催する男女ナショナルチームによる国際大会「EAFF E-1 サッカー選手権 2022 決勝大会」をカシマサッカースタジアムにて開催することになり、参加チーム・大会関係者の宿泊・輸送手配を日本サッカー協会(JFA)より受託。
- ・弊社主幹として初開催となる国際サッカー大会「第 1 回日中友好青少年サッカー大会」を開催。海外からは中国 2 チーム、ニュージーランド 1 チームが参加。

事業	実施概要
情報発信・プロモーション	・平成 30 年 6 月 スタジアムキャンプ 実施 FM かしま出演による情報発信 国際イベントニュース掲載 ・平成 31 年 3 月 茨城 100k ウルトラマラソン in 鹿行 茨城新聞、読売新聞、毎日新聞掲載 ・令和 1 年 8 月 スタジアムキャンプ 実施 FM かしま出演による情報発信 茨城新聞掲載 ・令和 1 年 11 月 中国農業研修ツアー 実施 茨城新聞、読売新聞掲載 ・令和 2 年 1 月 中国教育旅行 受入 茨城新聞掲載 ・令和 2 年 2 月 鹿島アントラーズヘリコプター観戦プラン 朝日新聞、茨城新聞 ・令和 2 年 6 月 地域観光メディア「鹿行ナビ」リリース 茨城新聞掲載 ・令和 2 年 7 月 民泊 Stay Rokko 運用開始 茨城新聞、読売新聞、毎日新聞掲載 ・令和 2 年 9 月 純米原酒「我は勝つ」販売開始 茨城新聞 ・令和 2 年 10 月 コロナ禍の取り組み NHK 水戸放送局 ・令和 2 年 10 月 アントラーズホームタウンうまい棒販売 日刊スポーツ、スポーツ報知、茨城新聞、TBS ・令和 2 年 10 月 ヘリコプター観戦プラン 茨城新聞、TBS ・令和 3 年 2 月 銚田のうまいもん BOX 販売 茨城新聞、毎日新聞、朝日新聞 ・令和 3 年 6 月 2020 おうちで応援セット販売 茨城新聞、読売新聞 ・令和 3 年 9 月 アントラーズ選手なりきり体験ツアー 茨城新聞、読売新聞、毎日新聞 ・令和 6 年 1 月 柔道ツーリズムモニターツアー NHK News Web、NHK World

	・ その他新聞掲載 平成 30 年 2 月 読売新聞 平成 30 年 4 月 茨城新聞 令和 1 年 8 月 日本経済新聞 令和 2 年 7 月 茨城新聞 令和 3 年 7 月 茨城新聞 令和 3 年 10 月 茨城新聞 ・ 2 か月に 1 回、なめがたテレビ出演による情報発信 ・ 情報発信事業 平成 30 年当法人 HP 開設 令和 2 年鹿行 5 市の観光、イベント等を一元的に発信するウェブサイト「鹿行ナビ」開設 ・ 令和 7 年 2 月 SNS 開設(X, Instagram) 地域観光・イベント情報、DMO 事業紹介、鹿島アントラーズ試合情報を発信。 受入環境の整備 平成 29 年度 鹿行地区版 DMO 設立準備委員会事業 (1)「おもてなし向上研修」 域内の観光関連事業者を対象に、接客向上、ホスピタリティ精神の醸成、外国人の宗教・文化的習慣等の理解を深めることを目的に実施 ①地域のおもてなし向上のための接客研修 (90 名参加) ・ サービス業に関する心構えと接客対応力の向上 ・ インバウンドの現状とターゲットをムスリムにする意義 ・ インバウンド対応における先進地事例と外国人対応練習 ②インバウンド対応力向上事業 (18 名参加) ①に参加した宿泊事業者を対象に、3 宿泊施設において下記の内容にて実地研修を実施 ・ ムスリムをはじめとする訪日外国人旅行者に求められるおもてなし ・ ムスリム対応の食事・生活様式等への対応 ・ 訪日外国人旅行者からよく尋ねられる質問とその対応練習 「インバウンド対応ガイド育成事業 (5 回講座)」 (23 名参加) 増加する訪日外国人観光客に対し、快適なおもてなしを行うために、英語による観光案内に必要なガイド方法を学ぶとともに、SNS 等の発信についても学ぶ機会とした。 「合宿メニュー開発」委託事業 新規合宿受入れ及び合宿リピーター増を図ることを目的に、「筋力アップ」、「疲労回復」、「瞬発力向上」、「風邪予防」の目的別メニューと運動後 30 分以内に摂取できる「アスリート向けリカバリーおにぎり」について開発委託し、域内宿泊事業者を対象に調理実習を行った。(15 名参加)
--	---

		令和 2 年民泊事業の開始 地域の課題となっている空き家増加から、DMO が鹿嶋市内の空き家を 1 棟借り上げ、改修工事、備品等の設置を完了させ 7 月 17 日に開業（定員 20 名）した。ターゲットとしては、J リーグ観戦者やゴルフプラン及び農業体験パッケージツアー参加者、海水浴客、さらに、テレワークの場としての貸出し等も想定している。合わせて施設利用者用に対するレンタサイクル事業も開始。
	観光資源の磨き上げ	・競技大会、競技団体合宿受入（令和 6 年度のみ記載） 令和 6 年 4 月 Junior CUP U-9 大会共催 令和 6 年 5 月 ITAKO CUP U-10 大会共催 令和 6 年 6 月 SUPER CUP U-9, 11 大会共催 令和 6 年 8 月 SUMMER FESTIVAL U-12 大会共催 令和 6 年 8 月 SUMMER FESTIVAL U-9 大会共催 令和 6 年 8 月 土浦カップ 大会共催 令和 6 年 9 月 NIKE ANTLERS CUP U-12 大会共催 令和 6 年 10 月 NIKE ANTLERS CUP U-11 大会共催 令和 6 年 11 月 Junior CUP U-10, 11 大会共催 令和 6 年 11 月 第 37 回全国法曹サッカー大会 大会共催 令和 6 年 11 月 NIKE ANTLERS CUP U-10 大会共催 令和 6 年 11 月 AUTUMN FES U-9 大会共催 令和 6 年 12 月 NIKE ANTLERS CUP U-9 大会共催 令和 6 年 12 月 WINTER CUP 大会共催 令和 6 年 12 月 CHALLENGE CUP 大会共催 令和 7 年 1 月 NEW GENERATION CUP 大会共催 令和 7 年 2 月 NIKE ANTLERS CUP U-15 (2 回) 大会共催 令和 7 年 2 月 NORTE FES 大会共催 令和 7 年 2 月 GRADUATION CUP 大会共催 令和 7 年 2 月 第 1 回日中友好青少年サッカー大会 主幹 令和 7 年 2 月 成立ゼブラ強化合宿 令和 7 年 3 月 2025IBARAKI 大学フェスティバル 大会共催 令和 7 年 3 月 Junior CUP U-11 大会共催 令和 7 年 3 月 Junior CUP U-10 大会共催 令和 7 年 3 月 ITAKO CUP U-11 大会共催 令和 7 年 3 月 ジョカトーレ高岡強化合宿 ・インバウンドスポーツ団体受入れ 令和 4 年 7 月 EAFF E-1 サッカー選手権参加チーム受入（韓国、中国、台湾、香港代表） 令和 4 年 10 月 セントラルコーストマリナーズ U-23 強化合宿受入 令和 4 年 12 月 韓国スポーツ少年団強化合宿・国内大会参加 令和 5 年 7 月 WQK-FC U-9 (中国) 強化合宿 令和 5 年 7 月 WQK-OTM U-11 (中国) 強化合宿 令和 5 年 8 月 Hang Sai FC (マカオ) 強化合宿 令和 6 年 1 月 桃園市 SC (台湾) 強化合宿 令和 6 年 6 月 米国女子選手サッカー短期留学 令和 6 年 6 月 東華三院葵榮星小学 (香港) 交流試合

		令和 6 年 7 月 台湾市サッカー協会強化合宿 令和 6 年 7 月 山東泰山 U-17(中国)交流試合 令和 6 年 7 月 台湾男子選手サッカー短期留学 令和 6 年 8 月 南渝初心 FC(中国)強化合宿 令和 6 年 10 月 シンガポール A 代表強化合宿 令和 6 年 11 月 江蘇省女子サッカー代表チーム強化合宿 令和 7 年 2 月 第 1 回日中友好青少年サッカー大会 中国 2 チーム、ニュージーランド 1 チーム ・農業ツーリズム 令和 1 年 11 月 中国企業向け農業研修ツアー 銚田市、行方市にて日本の農業研修として実施 ・教育旅行受入れ 令和 1 年 7 月 中国石門中学校学習旅行 (茨城町立明青中学校との交流) 令和 2 年 1 月 中国西安市小学校修学旅行 (鹿嶋市立鹿島小学校との交流) 令和 2 年 1 月 中国哈爾濱第 69 中学校修学旅行 (鹿嶋市立大野中学校との交流) ・企業研修受入れ 令和 2 年 11 月 株式会社メルカリ社内 IT オフサイト 令和 2 年 11 月 株式会社メルペイ exec オフサイト 令和 2 年 12 月 第 1 回 Antlers Business College 令和 3 年 5 月 第 2 回 Antlers Business College 令和 3 年 11 月 株式会社メルペイ経営オフサイト 令和 5 年 9 月 株式会社メルカリオフサイト 令和 5 年 11 月 株式会社ココナラスキルパートナーズ経営 者合宿 令和 6 年 8 月 株式会社メルカリオフサイト 令和 6 年 9 月 株式会社メルカリオフサイト 令和 7 年 3 月 株式会社 IVRy 経営合宿 ・その他イベント 平成 30 年 8 月 第 1 回アントラーズスタジアムキャンプ開 催 平成 30 年 8 月 北浦花火観覧ツアー実施 平成 31 年 3 月 茨城 100k ウルトラマラソン宿泊手配 令和 1 年 5 月 茨城国際ユース U16 大会協力 令和 1 年 5 月 ミズノオープン&あやめ観光ツアー実施 令和 1 年 8 月 第 2 回アントラーズスタジアムキャンプ開催 令和 3 年 10 月 海のお仕事体験ツアー(小学生向け職業体 験)実施 令和 3 年 11 月 アントラーズ選手なりきり体験ツアー実施 令和 3 年 12 月 アントラーズ選手バスで行くカシマスタジ アム満喫ツアー実施 令和 3 年 12 月 アントラーズチームバスで行く「鹿島アン トラーズアカデミーDNA ミニ勉強会」実施 令和 4 年 12 月 株式会社カクイチ 社員大運動会受入
--	--	---

	令和 5 年 3 月 茨城 100k ウルト라마ラソン 大会エントリー権ふるさと納税出品 令和 5 年 4 月 THE ROYAL JUNIOR (国際ゴルフ大会) 選手輸送 令和 5 年 8 月 アントラーズスタジアムキャンプ 2023 共催 令和 6 年 3 月 茨城 100k ウルト라마ラソン オフィシャルツアー販売、大会エントリー権ふるさと納税出品 令和 6 年 4 月 THE ROYAL JUNIOR (国際ゴルフ大会) 選手輸送 令和 6 年 8 月 アントラーズスタジアムキャンプ 2023 共催 令和 7 年 3 月 茨城 100k ウルト라마ラソン オフィシャルツアー販売、大会エントリー権ふるさと納税出品 ・地域土産物商品開発事業 令和 2 年 8 月 純米原酒「我は勝つ」販売開始 (地元酒米を使用し、地元蔵元で醸造した DMO 限定の日本酒) ※一般酒類小売業免許と通信販売酒類小売業免許を取得 令和 2 年 10 月 アントラーズホームタウンうまい棒を期間限定にて販売 令和 3 年 11 月 自社ブランドの「ディスカバー鹿行」ロゴを活用したマグカップやエコバッグの販売、鹿行 5 市のゆるキャラをモチーフにゆるキャラ T シャツを作成・販売開始 令和 3 年 11 月 地元事業者との連携、地域産品を活用した「アントラーズホームタウンもつ煮」販売開始
--	--

【定量的な評価】

＜令和 4 年度＞※主な受入れ実績(一部)

合宿等受入れ	期 間	宿泊／グラウンド	泊数	人数
ANTLERS HOMETOWN DMOCUP U11	4/2～3	・三笠山旅館他（鹿嶋市） ・高松緑地多目的球技場他 （鹿嶋市市）	1	170
ITAKO CUP U12	4/29～30	・潮来ホテル他（潮来市） ・潮来市前川グラウンド（潮来市）	1	280
ANTLERS OCEANS CUP	7/16～17	・三笠山旅館他（鹿嶋市） ・ト伝の郷運動公園球技場 （鹿嶋市）	1	200
EAFF E-1 選手権 2022 ※大会関係者	7/16～27	・鹿島セントラルホテル（神栖市） ・カシマサッカースタジアム （鹿嶋市）	11	20
ANTLERS SUMMER FESTIVAL	8/8～9	・三笠山旅館他（鹿嶋市） ・ト伝の郷運動公園球技場 （鹿嶋市）	1	192
ANTLERS DMO CUP バレー ボール大会	9/3～4	・三笠山旅館（鹿嶋市） ・カシマスポーツセンタ （鹿嶋市）	1	131
NIKE	10/8～10	・ホテルジャーニーロード	2	432

	ANTLERS CUP U11		・ホテルジャーニーロード 所有グラウンド			
	セントラル コーストマ リナーズ U23	10/29～ 11/7	・ ミンションやまざき他（神 栖市） ・ 高松緑地多目的球技場他 （鹿嶋市）	8	30	
	NIKE ANTLERS CUP U10	11/26～27	・ ホテルジャーニーロード ・ ホテルジャーニーロード 所有グラウンド	1	373	
	NIKE ANTLERS CUP U9	12/17～18	・ ホテルジャーニーロード ・ ホテルジャーニーロード 所有グラウンド	1	368	
	韓国サッカ ー少年団	12/24～28	・ ミンションヤマザキ（神栖 市） ・ ト伝の郷運動公園球技場 （鹿嶋市）	4	22	
	ANTLERS CHALLENGE CUP	12/25～27	・ 三笠山旅館他（鹿嶋市） ・ ト伝の郷運動公園球技場 （鹿嶋市）	2	268	
	NIKE ANTLERS CUP U15	1/28～29	・ ホテルジャーニーロード ・ ホテルジャーニーロード 所有グラウンド	1	382	
	ANTLERS GRADUATION CUP U12	3/4～5	・ 三笠山旅館他（鹿嶋市） ・ 鹿嶋アントラーズアカデミ ーフィールド（鹿嶋市）	1	219	
	令和 4 年度 実績	インバウンド合宿受入れ		255 名	1,711 泊	
		国内合宿・大会受入れ		4,807 名	6,021 泊	
		イベント等		47 名	54 泊	
		宿泊手配・企業研修		51 名	55 泊	
		合 計		5,160 名	7,841 泊	
	＜令和 5 年度＞※主な受入れ実績（一部）					
	合宿等受入 れ	期 間	宿泊／グラウンド		泊数	人数
	2023 ITAKO CUP U-10	5/6～7	・ 潮来ホテル他（潮来市） ・ 潮来市前川グラウンド（潮 来市）		1	205
	2023 NORTE CUP U-11	7/15～16	・ 丸徳旅館他（ひたちなか 市）		1	203
	WQK-FC （中国広州 市サッカー 少年団）	7/11～16	・ ホテルジャーニーロード （神栖市）、三笠山旅館（鹿嶋 市） ・ 鹿島アントラーズアカデミ ーフィールド（鹿嶋市）		5	19
	WQK-OTM （中国広州 市サッカー 少年団）	7/22～31	・ 三笠山旅館（鹿嶋市） ・ 鹿島アントラーズアカデミ ーフィールド（鹿嶋市）		9	25

	2023 ITAKO CUP U-12	7/29～7/30	・ 潮来ホテル他（潮来市） ・ 潮来市前川グラウンド（潮来市）	1	310	
	Hang Sai FC（マカオサッカー少年団）	8/22～8/27	・ ホテルジャーニーロード（神栖市）	5	30	
	2023 アントラーズスタジアムキャンプ（共催）	8/11～8/12	・ カシマサッカースタジアム	1	186	
	NIKE ANTLERS CUP U-12	9/16～9/18	・ ホテルジャーニーロード（神栖市）	2	554	
	2023 ANTLERS FD CUP U-9	9/30～10/1	・ ホテルジャーニーロード（神栖市）	1	240	
	NIKE ANTLERS CUP U-11	10/7～10/9	・ ホテルジャーニーロード（神栖市）	2	532	
	NIKE ANTLERS CUP U-10	11/25～11/26	・ ホテルジャーニーロード（神栖市）	1	350	
	NIKE ANTLERS CUP U-9	12/16～12/17	・ ホテルジャーニーロード（神栖市）	1	350	
	桃園市サッカー協会（台湾）	1/24～1/29	・ 三笠山旅館（鹿嶋市） ・ 鹿島アントラーズアカデミーフィールド（鹿嶋市）	5	31	
	令和 5 年度実績	インバウンド合宿受入れ		105 名	586 泊	
		国内合宿・大会受入れ		5,492 名	7,185 泊	
		イベント等		209 名	209 泊	
		宿泊手配・企業研修		39 名	39 泊	
		合 計		5,845 名	8,019 泊	
	＜令和 6 年度＞※主な受入れ実績（一部）					
	サッカー大会・合宿・その他案件	期 間	宿泊／グラウンド	泊数	人数	
	Junior CUP U-9	4/27～28	・ ホテルジャーニーロード（神栖市）	1	349	
ITAKO CUP U-10	5/6～7	・ 潮来ホテル他（潮来市） ・ 潮来市前川グラウンド（潮来市）	1	215		
SUPER CUP U-9, 11	6/29～30	・ ミンションやまざき、リゾートインあおの他（神栖市）	1	1,127		
桃園市サッ	7/1～12	・ 鹿島ハイツ、三笠山旅館（鹿	11	28		

	カー協会強化合宿		嶋市) ・ 鹿島アントラーズアカデミーフィールド(鹿嶋市)		
	スタジアムキャンプ 2024	7/27~28	・ カシマサッカースタジアム	1	156
	SUMMER FESTIVAL U-9	8/1~8/3	・ 池田屋旅館等(鹿嶋市) ・ ホテル新まこも(潮来市) ・ ト伝の郷運動公園球技場(鹿嶋市)	2	199
	SUMMER FESTIVAL U-12	8/6~8	・ 鹿嶋市、潮来市、神栖市各宿泊施設 ・ ト伝の郷運動公園球技場(鹿嶋市)	2	553
	南渝初心 FC(インバウンド)	8/5~12	・ いわせ旅館(神栖市) ・ 鹿島アントラーズアカデミーフィールド(鹿嶋市)	7	22
	NIKE ANTLERS CUP U-12	9/14~16	・ ホテルジャーニーロード(神栖市)	2	498
	シンガポール A 代表(インバウンド)	10/5~7	・ 鹿島セントラルホテル(神栖市) ・ カシマサッカースタジアムサブグラウンド(鹿嶋市)	2	49
	NIKE ANTLERS CUP U-11	10/12~14	・ ホテルジャーニーロード等(神栖市)	2	428
	Junior CUP U-10, 11	11/2~3	・ ホテルジャーニーロード等(神栖市)	1	774
	第 37 回全国法曹サッカー大会	11/22~24	・ 鹿島セントラルホテル(神栖市) ・ ト伝の郷運動公園(鹿嶋市) ・ カシマサッカースタジアム(鹿嶋市)	2	366
	NIKE ANTLERS CUP U-10	11/20~24	・ ホテルジャーニーロード(神栖市)	1	341
	江蘇省女子サッカー代表(インバウンド)	11/30~12/11	・ 神栖市、鹿嶋市各宿泊施設 ・ ト伝の郷運動公園(鹿嶋市) ・ カシマサッカースタジアム(鹿嶋市)	11	64
	NIKE ANTLERS CUP U-9	12/14~15	・ ホテルジャーニーロード等(神栖市)	1	335
	CHALLENGE CUP	12/25~27	・ 三笠山旅館等(鹿嶋市) ・ ト伝の郷運動公園(鹿嶋市)	2	358
	NIKE ANTLERS CUP U-15①	2/1~2	・ ホテルジャーニーロード(神栖市)	1	278
	NIKE	2/15~16	・ ホテルジャーニーロード	1	222

	ANTLERS CUP U-15②		(神栖市)		
	GRADUATION CUP	2/8～9	・ホテルジャーニーロード (神栖市)	1	301
	第1回日中友好青少年サッカー大会	2/22～24	・鹿島ポートホテル等(神栖市) ・神栖市矢田部サッカー場	2	295
	Junior CUP U-11	3/25～27	・ホテルジャーニーロード (神栖市)	2	112
	Junior CUP U-10	3/27～29	・ホテルジャーニーロード (神栖市)	2	207
	ITAKO CUP U-11	3/15～16	・千歳屋旅館等(潮来市)	1	197
	令和6年度実績	インバウンド合宿受入れ		273名	1,162泊
		国内合宿・大会受入れ		8,134名	11,547泊
		イベント等		1,528名	201泊
		宿泊手配・企業研修		45名	52泊
合 計		9,980名	12,962泊		

実施体制

※地域の関係者との連携体制及び地域における合意形成の仕組みが分かる図表等を必ず記入すること（別添可）。

【実施体制の概要】

（一社）アントラーズホームタウンDMOは、鹿行5市（鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市）、(株)鹿島アントラーズ・エフ・シー、(株)なめがたしろはとファーム、ザ・ロイヤルゴルフクラブ(株)、関彰商事(株)の9団体で構成している。

上記の9法人には、それぞれにDMO担当者が選任されていることから、DMO事務局とその担当者による戦略会議を不定期で開催しており、会議案件ごとに関係する事業者の参加を要請している。

地域の観光協会、商工会、JA等の関連事業者の連携については、各市を通じた連絡調整が容易に行える体制となっており、当法人が主体となつてのプロスポーツチーム、観光関連事業者、宿泊事業者、飲食業者など多様な関係者との密接な連携による合意形成のスキームは定着している。

【実施体制図】

定例戦略会議
(月1回開催)

【関連団体】

茨城県
観光協会
宿泊施設事業者
スポーツ施設事業者
飲食関連事業者
金融機関

茨城県DMO
商工会
交通事業者
スポーツ振興団体
JA
FM

漁協
鹿島神宮

(株)鹿島アントラーズ・エフ・シー
(株)なめがたしろはとファーム
ザ・ロイヤルゴルフクラブ
関彰商事(株)

鹿嶋市
潮来市
神栖市
行方市
鉾田市

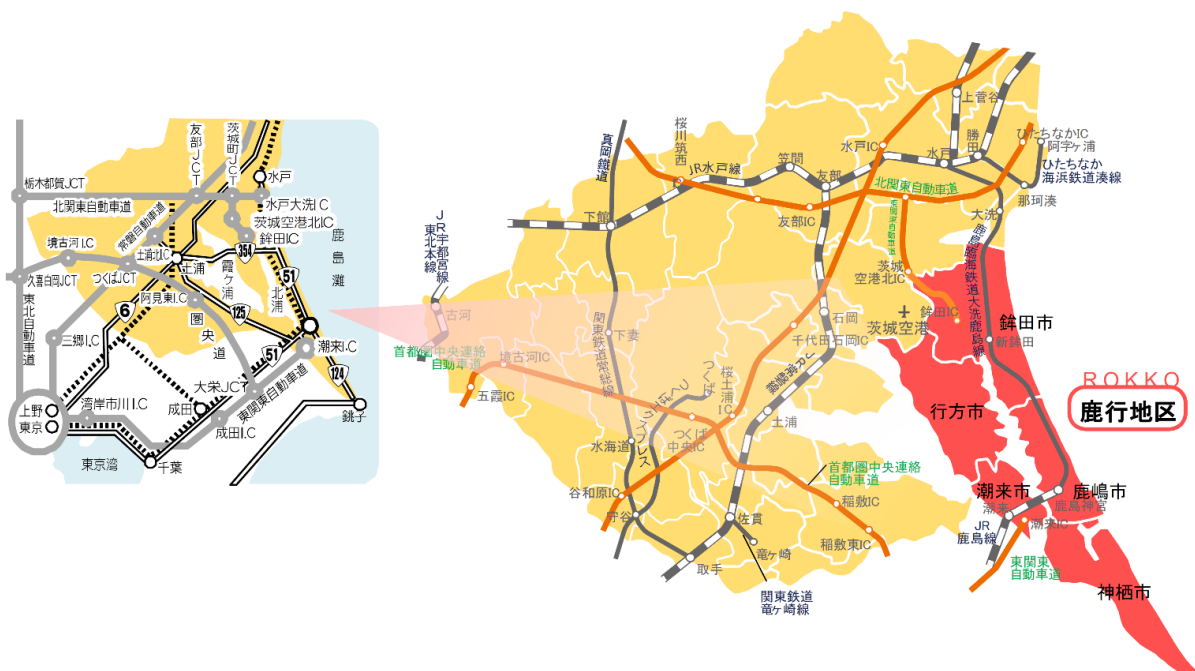
常時連携

一般社団法人
アントラーズホームタウンDMO

常時連携

2. 観光地域づくり法人がマネジメント・マーケティングする区域

【区域の範囲が分かる図表を挿入】



【区域設定の考え方】

茨城県は、大きく5ブロックに大別され、鹿行地域は県東に位置し、5市はいずれも北浦流域に面しており、古くから共通する生活圏と同一の生活文化を有するエリアとなっている。

現在は、5市共にJリーグ鹿島アントラーズFCのホームタウンとなっており、H19.5月には5市によるホームタウン協議会を組織し、5市連携によるサッカーを通じたまちづくり活動を展開してきている。

したがって、サッカーを中心とするスポーツツーリズムを軸としての事業展開を図る本DMOにおいては、鹿行5市の区域設定が適切である。

【観光客の実態等】

・令和6年の茨城県観光客動態調査結果では、県全体の入込客（延べ人数）の総数は約6,179万人となっており、日帰り観光客の割合が約82%を占めている。観光入込客数の地域別比較によると、弊社マーケティング地域の鹿行エリアは県全体の約10.5%となっている。

・茨城県全体の令和6年度観光消費額は、昨年度を約124%上回る約4,447億円となり、過去最高値となった。

【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】

① 観光施設（観光資源）

鹿嶋市—鹿島神宮、鹿島神宮宝物館（直刀：国宝）カシマサッカースタジアム、サッカーミュージアム、鹿島アントラーズクラブハウス、はまなす公園、城山公園、栽培漁業センター、神の道（新日本歩く道100選）、下津・平井海水浴場

潮来市—水郷潮来あやめ園、水郷旧家磯山邸、道の駅いたこ、水郷県民の森、水郷北斎公園、権現山公園

神栖市—港公園、風力発電施設、工場群（夜景）、1000人画廊、息栖神社、山本家住宅、日川浜海水浴場、波崎海水浴場、ふれあいセンター湯楽々、ゆ〜ぽ〜とはさき、日川浜オートキャンプ場、矢田部サッカー場、波崎の大タブ、なさか夕日の郷公園

行方市—霞ヶ浦ふれあいランド、なめがたファーマーズビレッジ、あそう温泉白帆の湯、西蓮寺、麻生藩家老屋敷、大場家住宅、ゴルフ場

銚田市—鹿島灘海浜公園、無量寿寺、温泉施設（ほっとパーク銚田・とっぷさんて大洋・いこいの村涸沼）、ゴルフ場、銚田海水浴場

②商業施設（特産品・農水産物販売所）

鹿嶋市—JA 直売所、鹿島っ娘（土曜日営業）

潮来市—道の駅いたこ、北斎公園・蔵（土日開催）、水郷潮来元気市（第4日曜開催）

神栖市—かみす農産物直売所、農産物直売所おらが村、WINDS BASE（ウインズベース）、吉原たまご直売所、じごいもの豚

行方市—なめがたファーマーズビレッジ、観光物産館「こいこい」、農産物直売所「げんきの里」、なめがた産ちのやさい畑、農産物直売所「やさいの声」

銚田市—サングリーン旭、ファーマーズマーケットなだろう、さんて旬菜館

③自然・アクティビティ

鹿島灘、霞ヶ浦（西浦・北浦）、神之池、砂丘、ブローカート、サーフィン、バスフィッシング、パラセーリング、サイクリング、ハイキング

④文化・スポーツ・イベント等

鹿嶋市—節分祭・祭頭祭・桜まつり・御田植祭（奉納流鏑馬）・サッカーフェスティバル・花火大会・神幸祭・古武道奉納演武・鹿嶋まつり・菊花展・駅前イルミネーション・はまぐり祭・Jリーグ

潮来市—あやめまつり・あじさいまつり・コスモスまつり・潮来祇園祭礼・万燈会・延方相撲・上戸の獅子舞・トライアスロン・酒造見学・十二橋めぐり・ろ船運行・水郷花火大会

神栖市—桜まつり・港公園わくわくフェア・大潮祭・きらっせ祭り・かみすぶっちゃげ祭り・かみすフェスタ・2輪ビーチレース大会（オフロードバイク）・市長杯波崎サーフィン大会・はさきさわやかランニング大会・神栖花火大会・菊花展

行方市—行方ふれあいまつり・サンセットフェスタ・新撰組まつり・大地の春祭り・ワカサギ釣り大会・どぶろく祭り・馬出しまつり・帆引き船

銚田市—銚田の夏まつり・花火大会・塔ヶ崎十一面観世音大縁日・メロン狩り・イチゴ狩り・HOKOTA イルミネーション・波乗り銚田メロンカップ（サーフィン大会）

5市連携事業—茨城 100K ウルトラマラソン in 鹿行

⑤鹿行の特産品

米、メロン、イチゴ、甘藷、キャベツ、ピーマン、トマト、ゴボウ、みつば、チンゲン菜、みず菜、レンコン、干しいも、しらす、鹿島タコ、ハマグリ、ヒラメ、ワカサギ、白魚、鯉、フナ、ウナギ、佃煮、若松、干両、さくら干し、みりん干し、海産物干物

【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】

市 名	宿泊施設数	収容人数	主な施設名
鹿嶋市	5	730	鹿島ハイツスポーツプラザ、ルートイン鹿島、スーパーホテル鹿嶋
潮来市	15	1,616	潮来ホテル、潮来富士屋ホテル、亀の井ホテル

神栖市	55	7,319	鹿島セントラルホテル、たびのホテル 鹿島、アトンプレスホテル、ホテルジ ャーニーロード、波崎グリーンホテ ル、ミンションやまざき
行方市	1	50	北浦湖畔荘
銚田市	6	420	ホテルニュー麻生、ホテルさわや いこいの村涸沼
計	82	10,135	

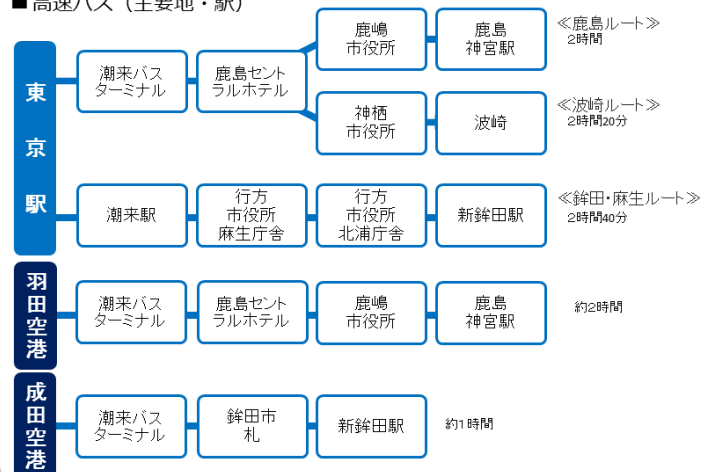
【利便性：区域までの交通、域内交通】

＜区域までの交通＞

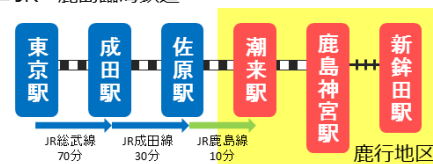
- ・東京駅からの高速バスは、域内5市の全てに路線化されている。
 - ・東京駅から JR（鹿嶋市・潮来市）
 - ・水戸駅から鹿島臨海鉄道（鹿嶋市・銚田市）
 - ・東関東自動車道（潮来 IC・銚田 IC）
- #### ＜域内交通＞
- ・広域路線バス（潮来～行方～鹿嶋）
 - ・鹿嶋コミュニティバス
 - ・潮来無料送迎バス
 - ・神栖デマンドタクシー
 - ・行方ふれあい（デマンド）タクシー
 - ・一般路線バス（潮来市・神栖市・行方市・銚田市）
 - ・タクシー

◆ 鹿行地域へのアクセス

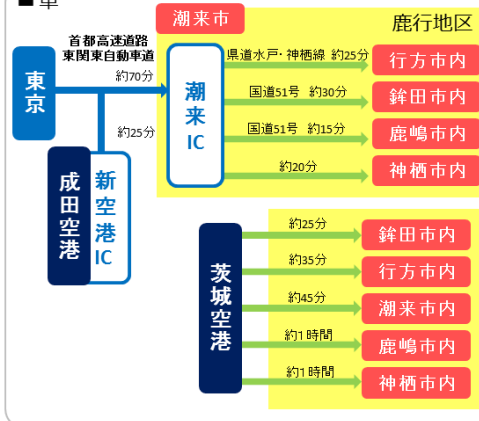
■ 高速バス（主要地・駅）



■ JR・鹿島臨海鉄道



■ 車



【外国人観光客への対応】

- ・「鹿行広域 DMO プロジェクト」において、H28 年度に多言語ガイド育成講座を実施（6 回：30 名受講）し、H29 年度はフォローアップ講座を実施した。
- ・平成 29 年度に、宿泊施設 3 か所において、域内宿泊事業者向けにムスリム対応の食事メニューをはじめとした接遇等の研修を行っている。

- ・各市観光行政担当課へ、観光案内所等での効果的な情報発信ツールの採用及び多言語化や案内標識の外国語標記、公共施設、観光地、宿泊施設等での Wi-Fi 環境等の充実について働きかけを行っており、徐々に整備されてきている。さらに、キャッシュレス決済の普及促進や多様な宗教に対応可能なサービス向上の啓発に取り組んでいく。
- ・訪日修学旅行の対応も含め、農業研修・体験等のできる体制整備を進めている。
- ・各市において多言語観光パンフレットが作成されている。
- ・必要に応じてガイド通訳手配、団体付リエゾン手配、ムスリム等の食事対応を行っている。
- ・今後の新型コロナウイルス対策としてガイドラインを作成、周知を進めていく。

3. 各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
旅行消費額	経済効果を把握する為。(KPI に活用)	茨城県観光客動態調査と自主事業として来訪者調査。
延べ宿泊者数	経済効果及び宿泊者数の実態を把握する為。(KPI に活用)	茨城県観光客動態調査と自主事業として宿泊施設調査。
来訪者満足度	商品造成、各種サービスの評価・改善の参考とする為。(KPI に活用)	茨城県観光客動態調査と自主事業としてアンケート調査。
リピーター率	各種サービスの評価・改善の参考とする為。(KPI に活用)	茨城県観光客動態調査と自主事業として来訪者調査。
WEBサイトのアクセス状況	地域に対する顧客の関心度や施策の効果等を把握するため。	当該法人の HP アクセス数により収集する。
ツーリズム事業受入数	事業の頻度を集計し、取扱量の適性を検討する為。	社内案件管理表により集計する。

4. 戦略

(1) 地域における観光を取り巻く背景

※地域経済、社会等の状況を踏まえた観光地域づくりの背景

対象エリアとなる鹿行地域は、鹿島灘と琵琶湖に次ぐ面積を持つ霞ヶ浦に面する水資源に恵まれた地域であり、鹿嶋市、神栖市は鹿島臨海工業地を有し第2次、第3次産業従事者が多く、その他の3市、特に行方市、鉾田市は第1次産業従事者が多く、農業産出額も全国屈指の自治体となっている。

しかしながら、この5市においても人口減少が進んでおり、2015年から30年後の2045年の茨城県による人口推計値では、鹿行地域の減少率は28%強であり、特に行方市は44%強、潮来市と鉾田市においては30%を超える予測から極めて憂慮すべき問題となっていることに加え、高齢化率も、令和2年4月1日現在の茨城県のデータにおいて、全国平均値28.6%に対し、鹿行地域は31.46%と高齢化が進んでいる地域となっている。このため、地域全体として農水産業の後継者不足が顕著となっており、耕作放棄地が急増している。

地域の現状から考察すると、日本の生産人口減少や世界的な産業構造の変化など、社会が大きく変異していく中、鹿嶋市、神栖市の第2次産業の規模が縮小していく可能性もあり、鉾田市、行方市においても、全国有数の農業生産地である一方、6次産業化やマーケティングに課題が多い状況にある。そうした背景から、新たな地域産業の核として、現在白地だらけといえる地域観光事業に期待がかかっている。

地域の観光資源としては、鹿島神宮や水郷潮来あやめ園等は一定程度の知名度はあるものの、地域全体としての観光資源は乏しく、これまで観光適地としての評価は決して高い地域とは言えないのが現状となっている。

当法人としては、鹿島アントラーズFCのブランド力をフックとして、地域の強みとなっているサッカーグラウンドの保有面数の優位性を生かしたサッカー合宿の誘致による交流人口の増加、特に成田・茨城空港から1時間以内のアクセス環境にあるため、アジア圏をターゲットとするインバウンド受入れによる経済効果、さらに国内に誇る農業産出額をもつ農業に焦点を当てたアグリツーリズム、また、鹿島灘や霞ヶ浦（西浦・北浦）などの豊かな自然環境を活用したエコツーリズムを通して地域の活性化を図っていくこととしている。

（２）地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	強み (Strengths) ・ 鹿島アントラーズFCのホームタウン ・ カシマスタジアム（ミュージアム）が立地 ・ 常陸一之宮の鹿島神宮や東国三社の息栖神社をはじめとする由緒ある寺社 ・ 豊富な農産物と水産物（域内特産の甘藷・レンコン・ピーマン・メロン・ほしいも・みず菜・チンゲン菜は、H27年品目別産出額全国1位） ・ 100面を超えるサッカーグラウンドを保有 ・ 域内13カ所のゴルフ場 ・ 広域サイクリングロード ・ 海や湖沼など豊かな自然環境（ウォータースポーツ、釣りに好環境） ・ 河岸や水郷の歴史や文化 ・ 降雪量が少なく年間を通して温暖	弱み (Weaknesses) ・ 二次交通網が脆弱 ・ 観光資源に乏しい ・ 宿泊施設が少ない ・ 鹿行の知名度が低い ・ 広域的情報発信力が弱い
外部環境	機会 (Opportunity) ・ 成田・茨城空港の活用 ・ 東関東道・圏央道の整備促進（現在、域内に2ヶ所のICがあり、さらに1ヶ所新設される。） ・ 国内有数のパワースポットとしての東国三社（鹿島神宮、息栖神社）への来訪者増加	脅威 (Threat) ・ 新型コロナウイルスによるインバウンドの減少及び国内からの合宿来訪者の減少 ・ 成田空港、茨城空港と都市部が近接 ・ 都市部での民泊事業者の増加 ・ スポーツ合宿の競合（菅平・御殿場・Jヴィレッジ等）

※上記に加え、PEST分析等の他のマーケティング分析手法を用いて分析を行っている場合は、その内容を記入（様式自由）。

（３）ターゲット

○第1ターゲット層：アジア圏及び関東圏内のサッカーチーム（合宿受入れ）

○選定の理由

FIFAクラブワールドカップ2016の準優勝やAFCアジアチャンピオンリーグ2018の優勝によって鹿島アントラーズFCの国際的知名度・認知度は飛躍的に高まっており、特にアジア圏では日本サッカー自体の人気の高い。また、鹿行地域は100面を超えるサッカーグラウンドを有し、神栖市（主に波崎地区）には年間に約30万人を超える合宿来訪者があり、市場としても今後拡大に傾向にある。そうした背景から、鹿島アントラーズのブランドや海外ネットワークを活用し、アントラーズOBの指導者派遣やアントラーズ育成カテゴリーとのマッチアップメニューなど付加サービスも充実させ、鹿行地域にアジア圏のスポーツツーリズム誘致を図る。

中国広州市の現地旅行法人と協定し、当法人の中国拠点を設けており、中国での営業プロモーションによる送客を得ている。

○取組方針

FIFA クラブワールドカップ 2016 で準優勝した鹿島アントラーズ FC の国際的知名度・認知度は飛躍的に高まっていることに加え、2020 東京オリンピックのサッカー会場となる茨城県立カシマサッカースタジアムが域内に位置するため、地域の知名度も確実に高まっていることから鹿島アントラーズの海外ネットワーク、さらに日本サッカー協会との連携のもとに、合宿招聘を行うとともに、トレーニング指導者としてアントラーズ OB の派遣やアントラーズ育成カテゴリーとのマッチアップメニューの充実を図る。

また、受け入れ実績のあるチームに対してのリピート合宿についてのプロモーションを行うとともに、広域大会等を主催しながら、満足度調査などにより再来訪意向につながる要因を分析し、分析結果に基に、ターゲット層に強力に訴求するコンテンツを磨き上げる。

○第 2 ターゲット層：東南アジア圏の児童・生徒・学生（教育旅行受入れ）

○選定の理由

中国に農業関連法人を置く日本企業と業務提携しており、令和元年 11 月に中国からの研修旅行受入れ（15 人：5 泊）を行ったが、日本農業の技術力に高い関心を示し、中には当地域に居住し複数年での研修を希望する参加者もいた。

域内では農業後継者の不足、農業従事者の減少から多くの農家において中国人を中心とする外国人研修生（概ね 3 年間）を受け入れているが労働者不足が大きな課題となっている。

当法人の研修旅行受け入れが契機となり、地域の農業従事者に観光に対する理解を深めてもらい地域全体で観光に取り組む下地を作っていく。本事業をフックにグリーンツーリズムを発展させていくことで、耕作放棄地の観光農園としての活用や、お土産商品開発による農業 6 次産業化など、地域農業が抱える課題解決に繋がっていくことが期待されている。

○取組方針

域内特産のサツマイモ・レンコン・ピーマン・メロン・ほしほも・みず菜・チンゲン菜は、H27 年品目別産出額全国 1 位であり、行方市のサツマイモは、「日本農業賞大賞」・「農林水産祭天皇杯」を受賞しており、銚田市のメロンは全国一の産出額を誇っている。

JA、農業生産法人、大手農家等と連携し、多様な研修プログラムを開発しながらプロモーションを充実し、受入拡大を図る。2019 年秋に中国からサツマイモ農家を招いてインバウンド農業研修旅行をテスト検証したところ評判も良かったので、今後もインバウンド農業は注力していく方針である。また、グリーンツーリズム以外にも地域内農業従事者とのリレーションを強化していきながら、地消地産のお土産開発を企画していく。

○第 3 ターゲット層：東南アジア圏の農業関係者（農業研修受入れ）

○選定の理由

令和元年度は、2 件の中国からの教育旅行受入れを行い、令和 2 年 1 月から 3 月にかけても 4 件の受入れが確定していたが、新型コロナウイルスの影響により受入れ中止としている。

現在も、今後の受入れ可否について複数件の問合せがある。国や茨城県がインバウンドを対象とした教育旅行に注力し需要が増え、弊社にも問い合わせが増加していると推測される。このため、主に中国を中心とした東アジアをターゲットとする教育旅行受入れに注力していく。

○取組方針

中国広州市の現地旅行法人と協定し、当法人の中国拠点を設けているため、域内への教育旅行について広くプロモーション活動を展開する。また、すでに実績のあるキャラバン旅行やライフックスなどと連携を取り、現地学校のニーズを組み込んだ交流プログラムを企画する。地域連携 DMO の強みを活かし、5 市の教育委員会と連携を取り、受け入れ可能小中学校を増やし、交流プログラムをはじめとした受入れ環境の整備を進める。

(4) 観光地域づくりのコンセプト

①コンセプト	「スポーツの聖地・鹿行(ROKKO)～アントラーズホームタウン～」 鹿島アントラーズFC ホームタウン5市で培ってきた「サッカーのまち」ブランドをブラッシュアップし、スポーツ合宿の聖地としての鹿行(ROKKO) スポーツツーリズムブランドを確立。
②コンセプトの考え方	FIFA クラブワールドカップ 2016 で準優勝した鹿島アントラーズFC の国際的知名度・認知度は飛躍的に高まっており、この鹿島アントラーズFC との連携を基に、国内チームはもとより、アジア圏もターゲットとしながらサッカーをメインとする「スポーツ合宿」のメッカとしてのブランド化を図る。 当地域は、純観光地としての資源に乏しいことから、他地域にアドバンテージとなる 100 面を超えるサッカーグラウンドの面数や国内屈指の農業地域の強みを生かしたツーリズム事業を展開し、交流人口の増加による経済効果への派生を目指すこととしている。 合宿来訪者へは、宿泊施設等での地域の豊富な農水産物の提供を通して、地域特産品の購買や5市のふるさと納税につなげる取り組みや域内周遊プログラムなども用意しながら満足度向上を図る取り組みを行っている。

5. 関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
戦略の多様な関係者との共有 ※頻度が分かるよう記入すること。	・ DMO が招集者となって、法人の構成団体（自治体 5・民間 4）による担当者会議を年 2 回にて不定期開催し、共有化を図っている。この定例会において、KPI の評価や PDCA についても協議し、戦略策定を行っている。また定期的に参画団体及び地域関係事業者を訪問し、担当業務の進捗や課題の共有、振り返りを行いながら、必要に応じて関連事業者との調整に当たっており、日常的に多様な関係者と円滑なコミュニケーションをとりあえる関係性が成り立っている。 ・ 年二回（6 月、11 月）開催している理事会は、6 月については、前年度の事業報告や、新年度の事業計画、PDCA の評価結果と改善方針について経営陣のオーソライズを諮っている。11 月については、事業計画の進捗等を報告している。
観光客に提供するサービスについて、維持・向上・評価する仕組みや体制の構築	・ アドバイザー活用や定期的な研修会開催等により、サービス向上に資する体制を構築に務めている。 ・ 満足度調査やマーケティング調査を実施し、PDCA サイクルに基づき結果をフィードバックしながら継続的、効率的に改善・向上を図る仕組みづくりを行っている。 ・ 当法人構成団体の民間 4 社の持つサービスに関するスキームを参考にしながら、民間の視点によるサービス向上に取り組んでいる。
観光客に対する地域一体となった戦略に基づく	・ 当法人 HP 及び SNS、鹿行 5 市の HP 及び広報紙、SNS 等を利用した情報発信とプロモーションを行っている。

元的な情報発信・プロモーション	・「エフエムかしま」による情報発信をしている。 ・鹿島アントラーズFCのHP及びサポーター向け情報誌を利用した情報発信とプロモーションを行っている。
-----------------	---

※各取組について、出来る限り具体的に記入すること。

6. K P I（実績・目標）

※戦略や個別の取組を定期的に確認・改善するため、少なくとも今後3年間における明確な数値目標を記入すること。

※既に指標となりうる数値目標を設定している場合には、最大で過去3年間の実績も記入すること。

（1）必須K P I

指標項目		2022 (R 4) 年度	2023 (R 5) 年度	2024 (R 6) 年度	2025 (R 7) 年度	2026 (R 8) 年度	2027 (R 9) 年度
●旅行消費額 (百万円)	目 標	45,000 (460)	45,500 (450)	48,000 (480)	50,000 (500)	52,000 (520)	54,000 (540)
	実 績	28,992 (28)	36,463 (109)	46,695 (186)			
●延べ宿泊者数 (千人)	目 標	600 (2.4)	700 (3.5)	800 (4.8)	900 (6)	950 (7)	1,000 (7.5)
	実 績	439 (0.43)	594 (1.7)	711 (2.8)			
●来訪者満足度 (%)	目 標	52.5 (52.5)	55.5 (55.5)	58.5 (58.5)	60 (60)	62 (62)	64 (64)
	実 績	46.1 (欠測)	47.5 (欠測)	48.3 (欠測)			
●リピーター率 (%)	目 標	73.4 (73.4)	76.4 (76.4)	79.4 (79.4)	80 (80)	82 (82)	84 (84)
	実 績	68.1 (欠測)	68.4 (欠測)	欠測 (欠測)			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

茨城県観光客動態調査における各年度の数値を元に、それぞれの数値を設定した。

【設定にあたっての考え方】

●旅行消費額

令和 6 年度茨城県観光客動態調査データを基に、茨城県全体の旅行消費額 444,717 百万円に鹿行 5 市への観光客入込み数の割合 10.5%を乗じて算出。6 年度までは毎年度 70~100 億近くの消費額上昇となっているが、一旦目標値を 500 億円にて設定。

●延べ宿泊者数

令和 6 年度茨城県観光客動態調査データを引用。6 年度以降は、過去 3 年間の増加率 (20~30%) を参考に目標値を設定。

●来訪者満足度

令和 6 年度茨城県観光客動態調査データ引用。来訪者満足度の目標については、例年 2~3%アップを目標として設定。実施のアンケートでは、「非常に満足」「やや満足」という概ね好意的な反応を受けているが、部門別の評価を見ると評価の差も大きい分野もあるため、全体的な底上げを図ることにより総合的な満足度のアップを目指していく。

●リピーター率

毎年度茨城県観光客動態調査データを引用しているが、8 月 12 日現在はリピーター率に関する数値は未発表となっている。過去の目標設定と同様に毎年 2~3%UP の数値にて設定

(2) その他の目標

指標項目		2022 (R 4) 年度	2023 (R 5) 年度	2024 (R 6) 年度	2025 (R 7) 年度	2026 (R 8) 年度	2027 (R 9) 年度
●WEB サイトアクセス数 (PV)	目標	150,000 ()	100,000 ()	35,000 ()	35,000 ()	50,000 ()	65,000 ()
	実績	21,935 ()	20,933 ()	22,000 ()			
●ツーリズム事業受入件数 (件)	目標	32 (28)	40 (10)	45 (15)	65 (20)	70 (25)	75 (30)
	実績	33 (3)	35 (4)	58 (14)			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

※各指標項目の単位を記入すること。

指標項目及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

自立した DMO を運営していくためには自主財源の獲得が不可欠である。民泊宿泊数、ツーリズム事業受入は民泊稼働率や自主事業の柱であるツーリズムの運営状況を検討、比較していくために必要な数値になると考え目標とした。

.....

【設定にあたっての考え方】

●WEB サイトアクセス数

現在公開している WEB サイトは、旅行商品を販売したり、BtoC で消費者向けに広く告知を行うという目的の元ではなく、あくまでコーポレートサイトとしての広報機能が主目的のため、地域の中小企業の BtoB サイトの他社事例から、月間 1,000~2000PV とした。令和 2 年以降は新規リリースした地域観光メディア「鹿行ナビ」も注力し、数年で 10 万 PV 以上の集客を目指している。

しかし、人員不足による募集型企画旅行の販売少なく、民泊施設「Stay Rokko」の一般販売も中止をしていることから PV 数が大幅に減少している中、鹿島アントラーズ FC のファンサポーター向けの観光体験ツアーを数件販売したが、あまり効果が得られなかった。令和 7 年度は各自治体・地域企業と連携し、観光体験商品の販売と広報活動を進めていきたい。

.....

●ツーリズム事業受入

法人設立時よりスポーツツーリズムを主事業として実施。コロナ禍以降順調に件数が増加してきており、インバウンド案件に関しては過去最高の受入件数となった。引き続き鹿島アントラーズと連携の元、スポーツツーリズムの受入コンテンツの磨き上げをおこないながら、現状なかなか催行ができていない鹿島アントラーズの HOME 戦を活用した地域周遊観光を含む試合観戦ツアーの商品造成を引き続き行っていきたい。

.....

7. 活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

※少なくとも今後 3 年間について、計画年度毎に（１）収入、（２）支出を記入すること。

※現に活動している法人にあっては、過去 3 年間の実績も記入すること。

（１）収入

年（年度）	総収入（円）	内訳（具体的に記入すること）
2022（R4） 年度	（円） 133,597,929	（円） ① スポーツツーリズム 126,453,097 ② グリーンツーリズム 0 ③ エコツーリズム 0 ④ ヘルスツーリズム 0 その他事業 7,144,832
2023（R5） 年度	（円） 114,061,175	（円） ① スポーツツーリズム 83,517,079 ② グリーンツーリズム 0 ③ エコツーリズム 0 ④ ヘルスツーリズム 0 その他事業 30,543,996
2024（R6）	（円）	（円）

年度	176,863,639	① スポーツツーリズム事業 ② その他事業 補助金事業	151,332,303 21,485,515 4,045,821
2025 (R7) 年度	(円) 157,330,000	① スポーツツーリズム事業 ② その他事業 補助金事業	(円) 134,630,000 18,700,000 4,000,000
2026 (R8) 年度	(円) 200,000,000	① スポーツツーリズム事業 その他事業	(円) 160,000,000 40,000,000
2027 (R9) 年度	(円) 237,000,000	① スポーツツーリズム事業 その他事業	(円) 180,000,000 57,000,000

(2) 支出

年(年度)	総支出	内訳(具体的に記入すること)
2022 (R4) 年度	(円) 132,377,363	(円) ①スポーツツーリズム 104,633,568 ②グリーンツーリズム 0 ③エコツーリズム 0 ④ヘルスツーリズム 0 ⑤ その他事業 7,015,281 ⑥ 販売費及び一般管理費 20,728,514
2023 (R5) 年度	(円) 116,968,348	(円) ①スポーツツーリズム 91,081,542 ②グリーンツーリズム 0 ③エコツーリズム 0 ④ヘルスツーリズム 0 ⑤その他事業 10,400,813 ⑥販売費及び一般管理費 15,485,993
2024 (R6) 年度	(円) 172,573,198	(円) ① スポーツツーリズム事業 128,586,751 ② その他事業 27,193,390 販売費及び一般管理費 16,793,057
2025 (R7) 年度	(円) 156,330,000	(円) ① スポーツツーリズム事業 127,128,100 ② その他事業 6,671,900

		販売費及び一般管理費	22,530,000
2026 (R8) 年度	(円) 199,000,000	① スポーツツーリズム事業 ② その他事業 ③ 販売費一般管理費	(円) 139,200,000 31,300,000 28,500,000
2027 (R9) 年度	(円) 236,000,000	① スポーツツーリズム事業 ② その他事業 ③ 販売費一般管理費	(円) 156,600,000 49,400,000 30,000,000

(3) 自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針

法人設立当初は、地方創生推進交付金（H30～R3）の活用と鹿行5市からの補助金及び参画団体からの基金拠出による運営を行いながら、スポーツ合宿をはじめとする着地型商品の企画・販売、民泊事業、特産品の物販、新電力の契約仲介等を通して、早期の自走を目指す。
令和4年度以降においては、株式会社鹿島アントラーズ・エフ・シーを責任企業としてツーリズム事業を中心に事業を推進していく。

8. 観光地域づくり法人形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

茨城県鹿嶋市・潮来市・神栖市・行方市・鉾田市の5市は、一般社団法人アントラーズホームタウンDMOを地域連携DMOとして登録したいので、一般社団法人アントラーズホームタウンDMOとともに申請いたします。

9. マネジメント・マーケティング対象区域が他の地域連携DMO（県単位以外）や地域DMOと重複する場合の役割分担について（※重複しない場合は記載不要）

重複無し

10. 記入担当者連絡先

担当者氏名	矢橋 伸一
担当部署名（役職）	一般社団法人アントラーズホームタウンDMO（事務局長）
郵便番号	314-0034
所在地	茨城県鹿嶋市神向寺23番地2
電話番号（直通）	0299-77-9500
FAX番号	0299-77-9501
E-mail	info@antlers-dmo.com

1 1. 関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県・市町村名	茨城県鹿嶋市
担当者氏名	野口 真良
担当部署名（役職）	経済振興部 商工観光課（課長補佐）
郵便番号	314-0012
所在地	茨城県鹿嶋市大字平井 1187 番地 1
電話番号（直通）	0299-82-2911（代表）
F A X 番号	0299-84-1213
E - m a i l	syokou1@city.ibaraki-kashima.lg.jp

都道府県・市町村名	茨城県潮来市
担当者氏名	高桑 莉青
担当部署名（役職）	環境経済部観光商工課観光商工 G（主事）
郵便番号	311-2421
所在地	茨城県潮来市辻 626 番地
電話番号（直通）	0299-63-1111（代表）
F A X 番号	0299-80-1100
E - m a i l	kankou@city.itako.lg.jp

都道府県・市町村名	茨城県神栖市
担当者氏名	村田 光
担当部署名（役職）	産業経済部 観光振興課（主事）
郵便番号	314-0121
所在地	茨城県神栖市溝口 4991 番地 5
電話番号（直通）	0299-90-1161（直通）
F A X 番号	0299-90-1211
E - m a i l	kanko@city.kamisu.ibaraki.jp

都道府県・市町村名	茨城県行方市
担当者氏名	大野 崇
担当部署名（役職）	経済部 商工観光課（課長補佐）
郵便番号	311-1704
所在地	茨城県行方市山田 2564 番地 10
電話番号（直通）	0291-35-2111
F A X 番号	0291-35-3258
E - m a i l	name-kanko@city.namegata.lg.jp

都道府県・市町村名	茨城県鉾田市
担当者氏名	菊地 徳人
担当部署名（役職）	産業経済部 商工観光課（係長）
郵便番号	311－1517
所在地	茨城県鉾田市鉾田 1444 番地 1
電話番号（直通）	0291－33－2111（代表）
F A X 番号	0291－32－2128
E－m a i l	shoko@city.hokota.lg.jp

基礎情報

【マネジメント・マーケティング対象とする区域】

茨城県鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市

【設立時期】平成30年1月30日

【設立経緯】

①区域に観光協会があるが、役割分担等をした上でDMO新設

【代表者】代表理事 田口伸一(鹿嶋市長)

【マーケティング責任者(CMO)】矢橋伸一

【財務責任者(CFO)】矢橋伸一

【職員数】2人(常勤2人(正職員0人・出向等2人)、非常勤0人)

【主な収入】ツーリズム事業176百万円 ※令和6年度決算

【総支出】173百万円(事業費156百万円、販管費17百万円)

※令和6年度決算

【連携する主な事業者】

(株)鹿島アントラズ・エフ・シー、(株)なめがたしろはとファーム、ザ・ロイヤルゴルフクラブ(株)、関彰商事(株)、エフエムかしま市民放送(株)、(株)KX、各JA、漁業協同組合、各市宿泊・飲食事業者等

KPI(実績・目標)

※()内は外国人に関するもの。

項目		2022 (R4)年度	2023 (R5)年度	2024 (R6)年度	2025 (R7)年度	2026 (R8)年度	2027 (R9)年度
旅行 消費額 (百万円)	目標	45,000 (450)	45,500 (460)	48,000 (480)	50,000 (500)	52,000 (520)	54,000 (540)
	実績	28,992 (28)	36,463 (109)	46,695 (186)	—	—	—
延べ 宿泊者数 (千人)	目標	600 (2)	700 (3)	800 (4)	900 (6)	950 (7)	1,000 (7)
	実績	439 (0.4)	594 (1.7)	711 (2.8)	—	—	—
来訪者 満足度 (%)	目標	52.5 (52.5)	55.5 (55.5)	58.5 (58.5)	60 (60)	62 (62)	64 (64)
	実績	46.1 (-)	47.5 (-)	48.3 (-)	—	—	—
リピーター率 (%)	目標	73.4 (-)	76.4 (-)	79.4 (-)	80 (-)	82 (-)	84 (-)
	実績	68.1 (-)	68.4 (-)	- (-)	—	—	—

記入日: 令和7年 8月 12日

戦略

【主なターゲット】

①アジア圏及び国内のサッカーチーム

②東南アジア圏の児童・生徒・学生

③東南アジア圏の農業関係者

【ターゲットの誘客に向けた取組方針】

鹿島アントラズ・エフ・シーの知名度と認知度の高さを生かし、海外ネットワーク、日本サッカー協会等と連携した合宿招聘を行い、OBの派遣や育成カテゴリーとの練習試合等の充実を図る。また中国広州市の代理店と事業協定を締結し、学生・農業関係者を対象とした交流事業を推進していく。

【観光地域づくりのコンセプト】

「スポーツの聖地・鹿行(ROKKO)～アントラズホームタウン～」

具体的な取組

【観光資源の磨き上げ】

・サッカー合宿、大会誘致(国内・海外)

※令和5年度実績:31件

・中国企業向け農業研修ツアー

【受入環境整備】

・空き家を活用した民泊事業

【情報発信・プロモーション】

・地域ラジオ放送局FMかしまと連携した地域情報発信WEBメディア「鹿行ナビ」の開設。

・なめがたテレビ出演による情報発信

